

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所こころ大野 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小児科経験があり経験豊富な看護師がいる。 医療的コーディネーターの資格がある。 新しいスタッフの入職と産休明けのスタッフが戻り人員が増えた。	保護者や関係機関の方と連携し医療的ケア児への適切で細やかな対応を行っている。	新職員の研修、育成を行う。
2	理学療法士によるリハビリ、言語聴覚士による口腔マッサージ、摂食指導を受けている。	リハビリの写真や指導の記録を見返しながらか、活動の中で取り入れている。	継続して行っていく。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスとの交流がある。	一緒に活動する中でお友達やスタッフとのつながりがひろがっている。	一緒に楽しくできる活動を考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休みや祝日は利用者の人数によって狭いと感ずることがある。	子どもの成長により身体が大きくなった。	通路を妨げないようバギーは室外に出し乱雑にならないようその都度持物品等の片付けや整理整頓を心掛ける。
2	スタッフの平均年齢が高い。	若い世代の人材確保、研修、育成。	SNSを配信したり、実習生やボランティアを高校にも声かけ募集したり、トライやるでも、施設を知ってもらい雰囲気や魅力を伝えている。
3			